

第12日 第12章 ビジネスモデル開発競争と知財マネジメント

- 1 【○】 技術研究フェーズのオープン戦略とは、発明・技術開発に資する資源を他からも導入することである。

【解説】 p.191 リソースについて自前主義でなく、多様な調達手段を組合せ、協業的に技術開発を行うことが重要である。

- 2 【○】 製品開発フェーズのオープン戦略とは、製品アーキテクチャ（製品特性）に沿って事業戦略上の技術要所を見定め、それに特化して技術を開発し、「内インテグラル、外モジュラー」、「内独自技術、外標準」、「内クローズ、外オープン」等の“からくり”を工夫することである。

【解説】 p.191 どこをクローズにし、どこをオープンとするかが重要である。

- 3 【×】 普及フェーズのオープン戦略とは、他者を仲間に引き入れ製造販売の分業パートナーにするかが重要であり、発明や技術をできるだけオープンにすることである。

【解説】 p.191 普及フェーズのオープン戦略とは、普及プロセスをどこまでオープンにすることが効果的・効率的かを見極めることである。